

美空~MISORA~ 第181号

発行日:2024年9月25日
発行者:NPO 法人 電線のない街づくり支援ネットワーク
理事長 高田 昇

目次 INDEX

活動報告 合同理事会1
2024 夏インターン生企画 芦屋市無電柱化住宅アンケート調査報告2
芦屋市役所 無電柱化取材報告7
イギリスで見た無電柱化の現状15

特定非営利活動法人
電線のない街づくり支援ネットワーク
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

【活動報告】

2024年9月19日(木)17:30~17:55

合同理事会

場所:WEB CiscoWebex

参加者:9名

1. 高田理事長より

今年は1月1日の能登地震に始まり、その復興がまだ十分でないまま次から次へと災害に見舞われています。台風はもう14号となるとともに、突然の強風による倒木、落雷といったこれまでは見られない「災害列島」の形相が見られます。一方で東京都知事選挙、進行中の国政選挙といった時代の転回点が見られます。そのような動きを直視しつつ、私たちの行動計画に反映したいと思います。

2. 事務局報告

- 9/3(火) 九州支部活動委員会
- 9/4(水) 国交省、第2回低コストWG
- 9/5(木) 北海道活動委員会
- 9/10(火) 沖縄活動委員会
- 9/11(水) 民間SWG 11社による製品紹介
⇒各WGに照会⇒10/2の第1回技術検討会につなげる
- 9/19(木) 東京理事会・合同理事会(WEBのみ)
- 9/27(金) 全国技術委員会 OSAKA 大阪市立総合生涯学習センター 第4研修室 15:00~16:30
- 10/16(水) つくば市街並見学会 午後~
- 10/17(木) 合同理事会のみ WEB 東京理事会は、前日の見学会時に打ち合わせ
- 11/5~10 北海道全道一斉パネル展
- 11/9(土) 国交省 近畿地整 大阪国道事務所 無電柱化の日イベント 梅田・曽根崎地下歩行空間
- 11/10(日) 無電柱化の日イベント お台場 NPOが主催で、近代設計様が運営
- 11/11(月) 無電柱化まちあるきショート動画コンテスト みち研分室
- 11/14(木) 合同理事会・東京理事会
- 11/18(月) 首長会 R6-3 勉強会 福井県小浜市
- 11/22(金) 全国技術委員会 OSAKA(予定)
- 11/24(日) 岡山県矢掛町70周年見学会(予定)

12/5(木) 東京理事会、合同理事会、東京活動委員会 住友林業さま会議室 C-2

3. 低コストWG(9/4)・民間SWG(9/11)の概要報告

- ・今年度の国交省の技術検討部会(旧あり方検討委員会)は2回で、その下部の低コストWGで多く検討する。2~3か月に1回、民間SWGも2~3か月に1回のペース。
- ・低コストWGでは
 - ▶転がし配線について検討されている。電技(電気設備の技術基準の解釈)ではできない。解釈を変更して置き配線、転がし配線が今後採用される可能性がある。→場所は特定されることになる。
 - ▶ハンドホールの問題
 - 各10地整でバラバラ。
 - 全て統一するのは難しいが、タイプを絞っていく方向なのは間違いない。
 - 地上機器も同様。

4. 9/27(金)の全国技術委員会 OSAKA の内容について

- ・低コストWGで話題になった「側溝貫通と側溝内配管」についての検証と意見交換を中心に進める。

5. 無電柱化住宅見学会 ~つくば市の無電柱化事例を、わかりやすく解説~

6. 無電柱化まちあるきショート動画コンテストの概要報告と動画作成のご協力

- ・10/15を締切にしています。

7. 矢掛町見学会について

8. NPO・HPや「美空」に広告募集をしてみる件

9. その他、ご意見(各支部・理事報告)

10. 次回は、10/17(木)17:30~18:00 合同理事会 WEBのみ

NPO 無電柱ネット **会員募集中!**

みんなで 広くて 青い 日本の空を
どんどん 増やして いきませんか!

<https://wp.me/P5dgbh-BO>



2024 夏インターン生企画

芦屋市無電柱化住宅 アンケート調査 結果報告

インターン生 上水口

写真はイメージです。

皆さんこんにちは！ NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワークでインターンをしている上水口です。今回私を含め、山崎・大久保・長田もアンケート調査に参加しました。以下ご報告いたします。

【無電柱化住宅にお住まいの方にアンケート調査を実施】

◆背景

海外の人は来日したとき、日本の街にある多くの電柱・電線に驚くそうです。

一方、日本人は、電柱・電線が日常に溶け込みすぎて、電柱・電線があることに疑問を持ちません。

そんな日本にも無電柱化が実現した地域がいくつかあります。そのうちの一つ、兵庫県芦屋市六麓荘町は日本初の無電柱化が実現した街です。

同じ芦屋市内では、高浜町、涼風町も無電柱化住居の街です。この街に住む人たちの電柱に対する意識が気になり、アンケート調査を実施したいと考えました。

◆実際に行ったこと

私一人で行うより多くの人に協力を仰いだ方が回答数を得られると考えたため、NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク様が受け入れている他のインターン生にも協力を仰ぎ、4 日間に分けて高浜町と涼風町を訪問しました。

インターフォン越しにアンケートを依頼し、QR コードの入ったアンケート依頼用紙を投函しました。お時間がある方にはその場でアンケートに回答していただきました。

実施期間は 9 月 4 日～9 月 17 日

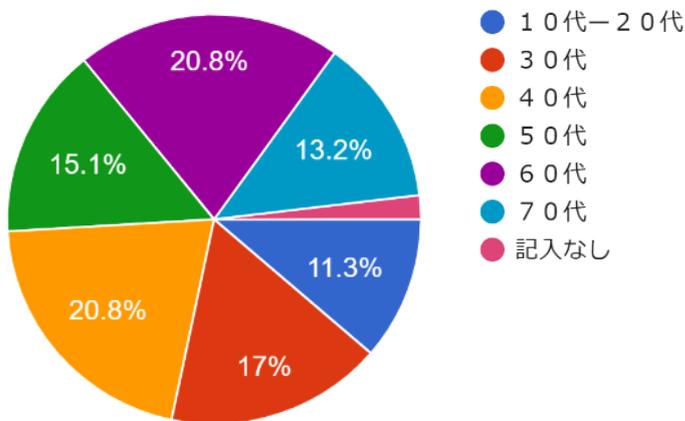
アンケート投函戸数：417 件

うち回答数：53 件 うち訪問先で回答：34 件

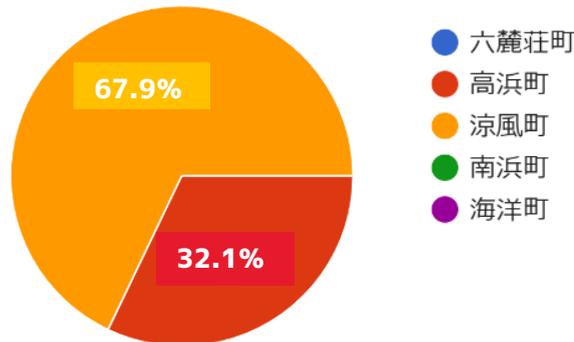
◆アンケート結果

結果として 53 件いただきました。目標としてかかげていた 50 件を達成することが出来ました。

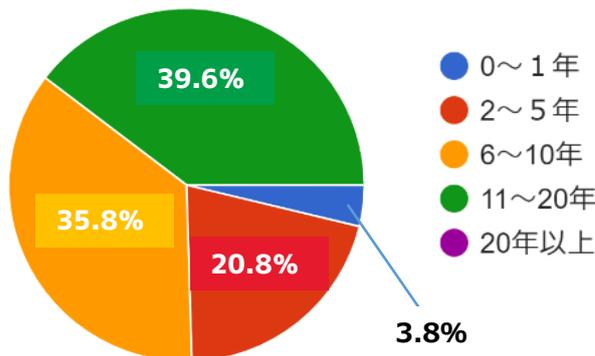
質問 1. 回答者様のご年齢を教えてください。(53 件)



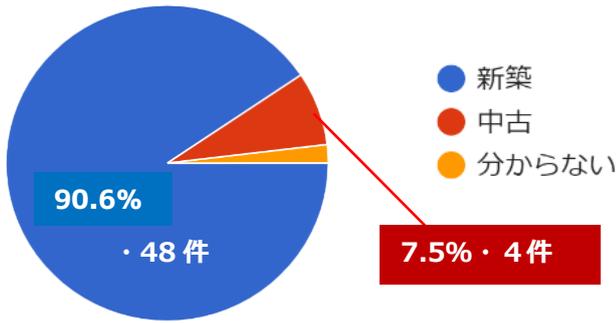
質問 2. お住いの地域を教えてください。(53 件)



質問 3. 居住年数を選択してください。(53 件)

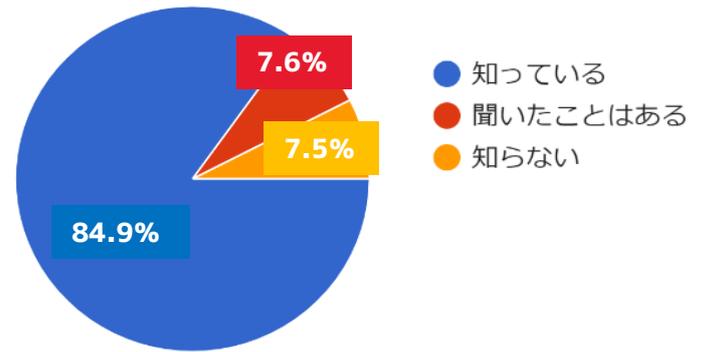


質問4. 現在お住まいの住宅は、新築でご購入されましたか。それとも中古でご購入されましたか。(53 件)



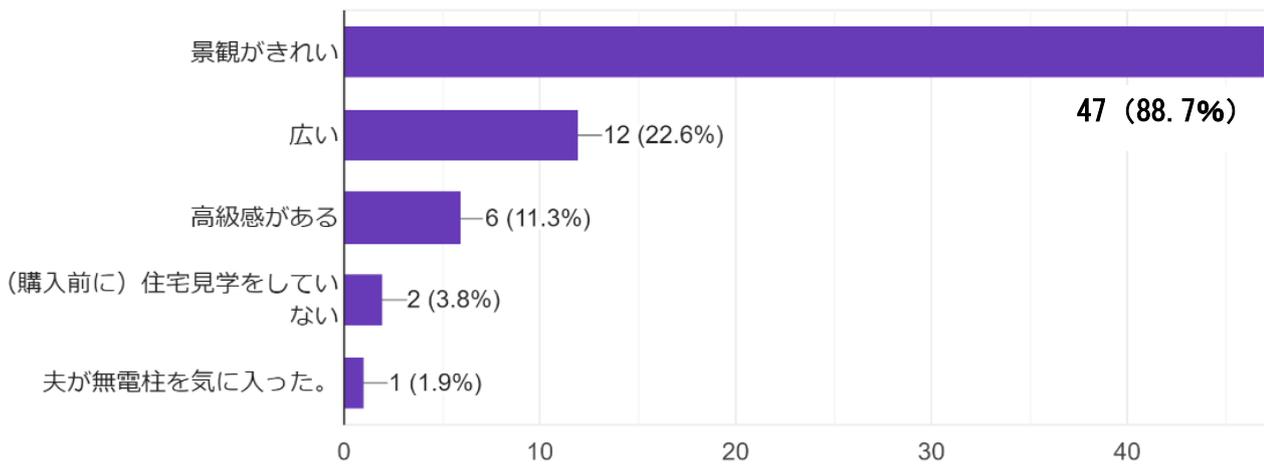
居住年数は11年～20年が多く、2007年以降に増えた電線類地中化物件の購入者がそのまま住み続けていると考えられます。また、戸建て購入をする場合、新築物件を購入する割合が90%と高かったです。

質問5. 無電柱化とは何かご存知ですか。(53 件)

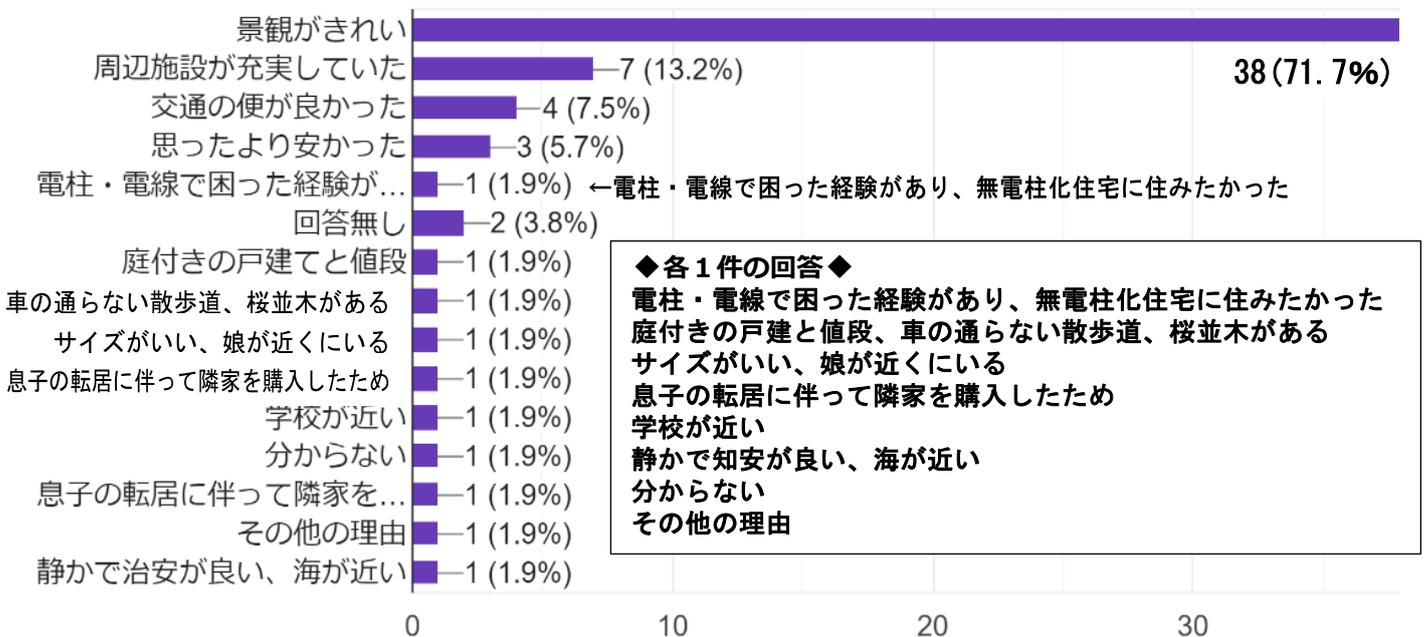


無電柱化住宅に住まれているのに、「無電柱化」という言葉を知らない方もいることに驚きました。実際にアンケートに伺ったとき、「無電柱化」ではなく「電柱が無い」という言葉でないと伝わらないという声もありました。

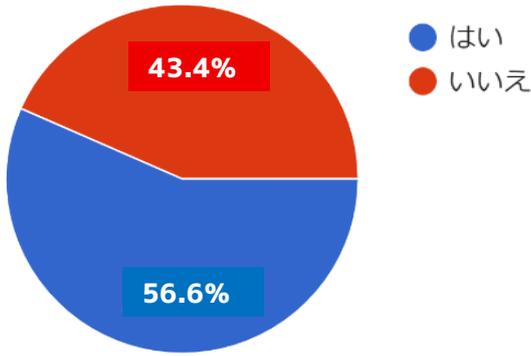
質問6. はじめて無電柱化住宅を見学した際、どのように思いましたか。(53 件)



質問7. 購入を決めた決定的な理由を下記からお選びください。(53 件)

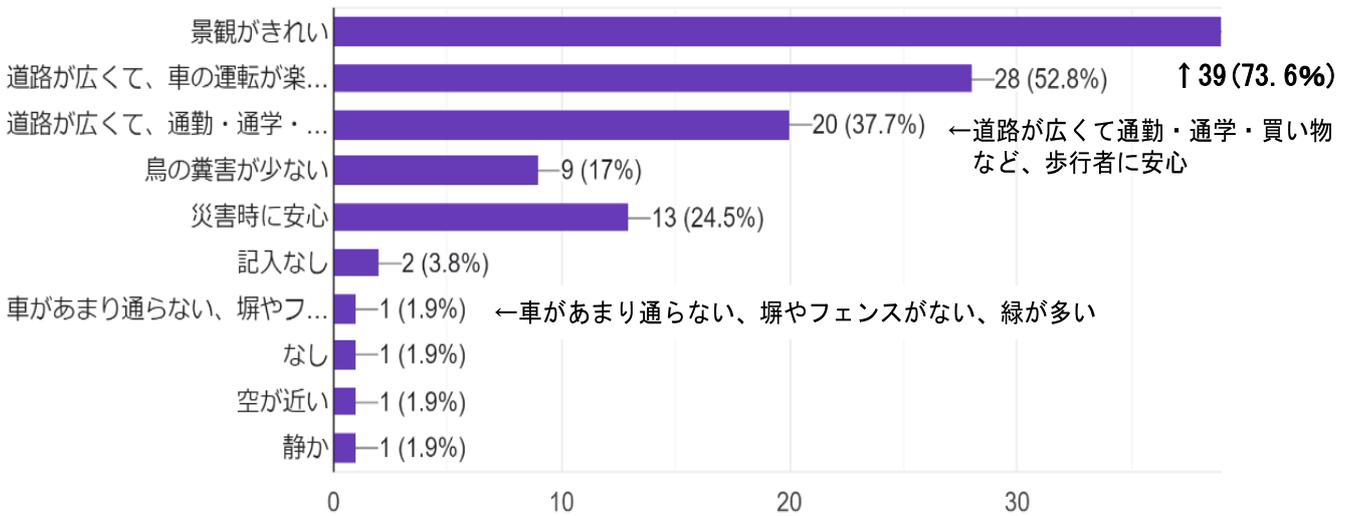


質問 8. 無電柱化が購入決定要因の一つだったと思いますか。(53 件)

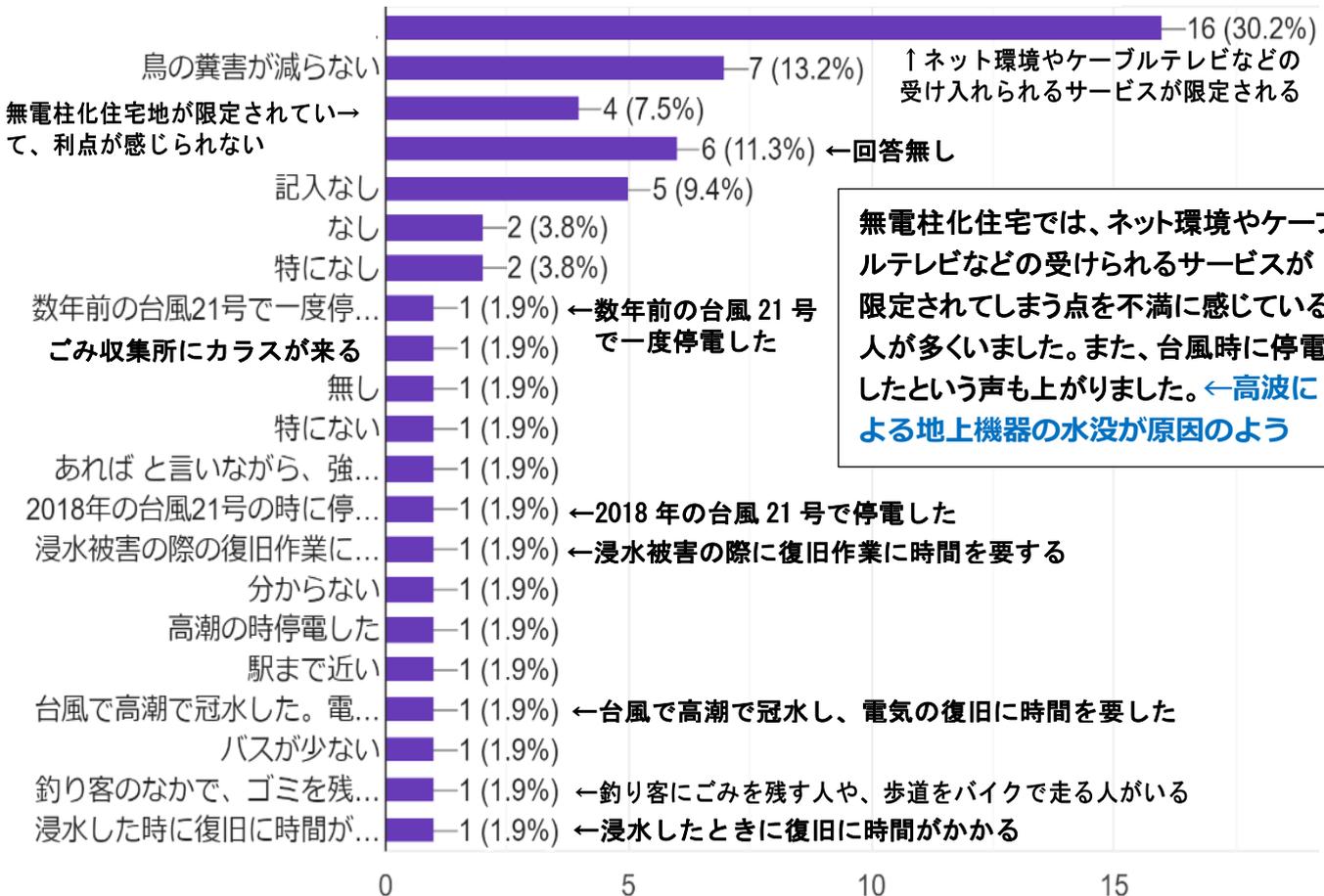


質問 6~9 の解説
 無電柱化住宅地の第一印象及びメリットでは「景観がきれい」というのが一番多かったです。購入決定要因としても景観面が大きく影響しています。つまり、視覚的効果はとても大きいということが分かります。

質問 9. 実際に住んでみて良かったと思うことをお選びください。(53 件)

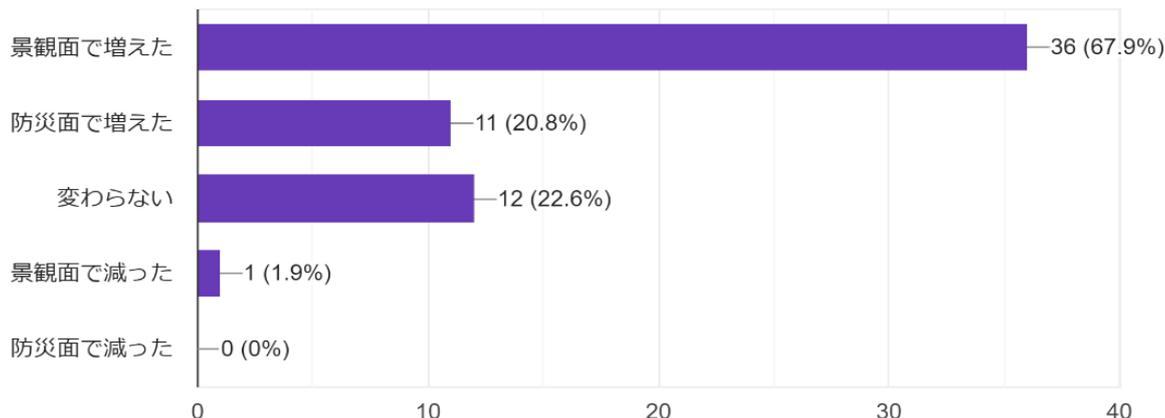


質問 10. 逆に期待通りでなかったことがあればお選びください(53 件)

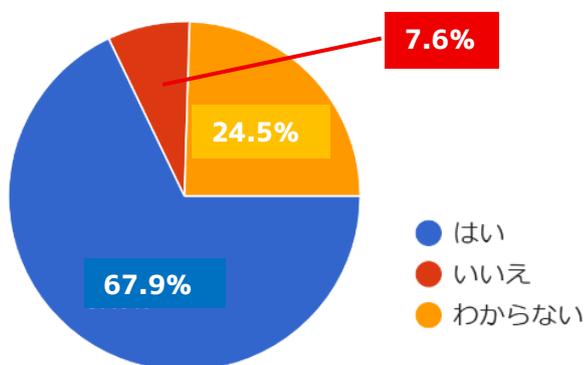


無電柱化住宅では、ネット環境やケーブルテレビなどの受けられるサービスが限定されてしまう点を不満に感じている人が多くいました。また、台風時に停電したという声も上がりました。←高波による地上機器の水没が原因のよう

質問 11. 無電柱化住宅に住んでから無電柱化されていない場所を訪れる時に、景観面や防災面で電柱や電線について意識する機会は増えましたか？ (53 件)



質問 12. 無電柱化エリアの住宅は、資産価値が維持できると思いますか。 (53 件)



知人への積極的な無電柱化住宅の紹介を薦める人は少ないですが、ご自身が引っ越し際には無電柱化住宅を好む方が多くいました。資産価値が維持できると考えているひとが多いことには驚きました！

◆まとめ

無電柱化住宅エリアではネット環境やケーブルテレビなどの受けられるサービスが限定されることがデメリットとして挙げられており、その点の改善策も必要になってくると思います。

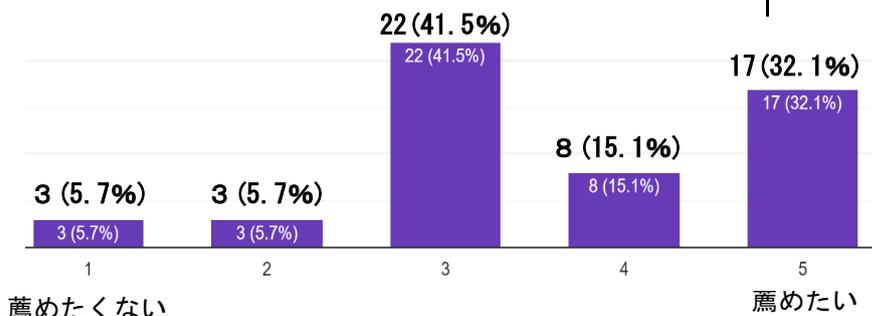
また、無電柱化住宅に住む方々の電柱に対する意識は、一般住宅に住む他の日本人とは違ったように感じられました。

電柱が無い住宅エリアに住むことにメリットを感じたり、それが理由で購入を決めていても、「無電柱化」という言葉を知らない人は多くいました。

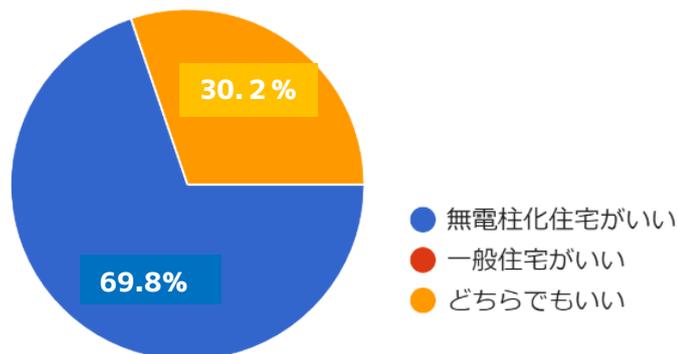
これからより「無電柱化」という言葉を広めていく必要があると考えました。

この記事によって「無電柱化」を広める力になればと思います。アンケートにご回答いただいた芦屋市の住民の皆様、ご協力ありがとうございました！

質問 13. 一戸建ての購入を検討している知人がいたら無電柱化エリアの住宅を積極的に薦めますか。 (53 件)



質問 14. 次に引っ越しするなら無電柱化住宅と無電柱化されていない一般住宅、どちらを選びますか。 (53 件)



◆アンケート調査に携わった他のインターン生の意見 (山崎君)

1) 住民の方からの口頭意見 (個人的見解あり)

1. 2018 年 9 月の台風 21 号 台風時の大雨により車のタイヤ部分くらいまでが沈んだ(海へ流れるための排水口が詰まっていた)。

(1の意見を受けて)芦屋市は景観ばかり気にしていて、無電柱化の問題点を注視しないこと。

2. 無電柱化住宅を希望して購入決定しているのは男

性が多いように感じた。

3. 以前、電柱がある住宅にいた時と比較して鳥の糞害は変わらない。
4. ゴミ捨て場は 10 軒に 1 つ設置されているので、困ったことはない。
5. バス停までが遠い。
6. 「無電柱化」という言葉を知らずに、景観の良さで購入している人が多い。
7. 家を売る際に、購入したときの値段より高く売れる場合もある。

2) アンケート DB の分析

1. 回答者は様々な年齢があり、実際に現地に行った際も 2 世帯住宅が多かった。
2. 居住年数が 11 年～20 年が多く、新築で購入後そのまま住み続けている人が多い。
3. 景観の良さや高級感で家を選択している人が多いように感じた。
4. 質問8の選択肢、無電柱化が購入決定の要因と限らないのは、景観や治安の良さだと考えられる。
5. 48 件のうち 33 件の方が、資産価値が維持できると答えていたのは景観面から考えると考えられる。
6. 無電柱化住宅のメリット、デメリットを知っているから知人への積極的な紹介は控えたい人が多い面、

自身は一般住宅には戻れないと言う人も多いように感じた。

3) 所感

1. Google Map に無い、新築の家が存在した。
2. 無電柱化を知っている人がアンケートに良く答えてくれた。
3. 外国人が一定数居住(中国や英語圏の人)。
4. それぞれの家に南国系の樹木や木々が多く、手入れが大変なのではと思った。
5. 電柱・電線がなく海が近いので太陽が近く感じた(南芦屋浜なので)。
6. 太陽光発電システムや車を 2 台以上の所有、大きな家が多かった。訪問に気がひけた。
7. JR 線は「交通費が高い」が「時間が短い」。一方、阪急線は「交通費が安い」が「時間がかかる」
8. 夏場は日中 36℃近く気温が上昇するので、午後より、午前に行く方がアンケートの回答率が高かった。

当 NPO では、無電柱化の日のイベントでショート動画コンテストを 11 月 11 日に実施いたします！
その動画をインターン生に撮影してもらいました。[ショート動画コンテストの詳細はコチラから](#)

電線が無くなって気づく、新たな風景

兵庫県 芦屋市 涼風町

無電柱化まちあるきショート動画

募集中!

byebye_denchu ・フォロー中
オリジナル音源

byebye_denchu 19時間前
現在、無電柱化まちあるきショート動画コンテストを実施しています。

街を歩いていると見つけた、
「電柱が立っていない場所」を1分～1分30秒程度の動画にまとめて送ってください!

無電柱化は災害による電柱の倒壊を防ぐだけでなく、観光地を中心とした街並みの整備に対して利点が多くあります。
ただ無電柱化を推進するには、皆さんの理解と興味のご協力が必要です。
無電柱化を知らないかたでも大歓迎!

各賞の当選者には賞金をご用意させていただきます
是非、ご協力下さい!

as_nor0、その他が「いいね！」しました
19時間前

コメントを追加...

芦屋市役所 無電柱化取材報告



南芦屋浜地区の無電柱化された道路

インターン生 上水口

今夏、NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワークでインターンをしています上水口です。

今回、芦屋市の無電柱化住宅アンケート(前項参考)と並行して、芦屋市役所に行き、基盤整備課 主査 平野様に取材させていただきました。

◆取材日

9月4日(水)10:00~11:00

◆取材の目的

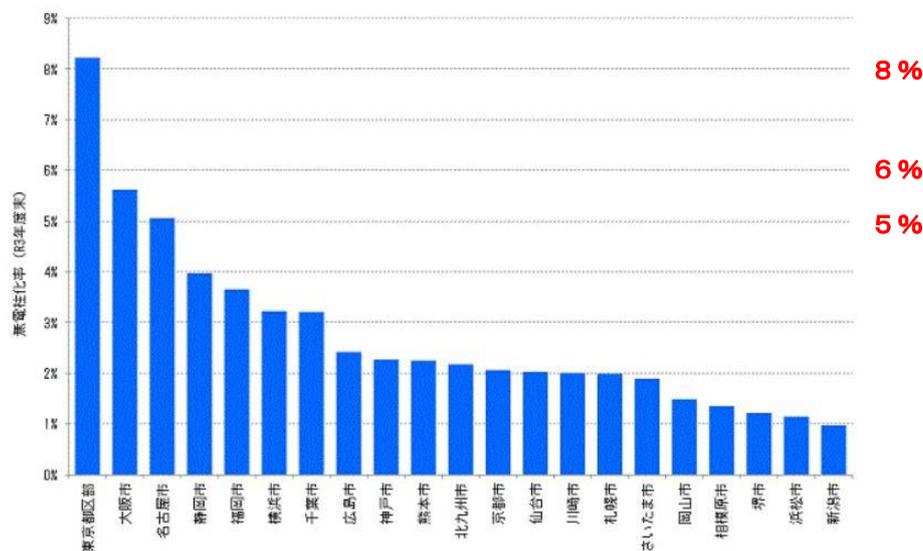
日本では、無電柱化率 100%、つまり電柱が一切ないパリやロンドンに比べて無電柱化が遅々として進んでいない。そんな日本国内の中でも、無電柱化率 15.5%(2004年6月4日時点)を達成している地域がある。それが兵庫県芦屋市だ。同市六麓荘町*では、昭和3年という早い時期に株式会社六麓荘が「東洋一の別荘地」というコンセプトで開発を開始した。



取材をさせていただいた 芦屋市役所 東館

無電柱化の整備状況 (特別区、政令市)

- 政令市等でも無電柱化は進んでおらず、無電柱化率が5%を超えているのは、東京23区、大阪市及び名古屋市のみである。



政令指定都市の無電柱化率
(国土交通省資料)

* 全道路(高速自動車国道及び高速道路会社管理道路を除く)のうち、電柱、電線類のない延長の割合 (R3年度末) で各道路管理者より聞き取りをしたもの

※芦屋市六麓荘町

芦屋の六麓荘は、「六甲の麓につくられた別荘地」というコンセプトのもと、開発された高級住宅街です。六麓荘は市街地化区域の90%以上が住宅地となっており、町内の大半のエリアには、電柱や信号がない。電線は地下に埋設されており、道路は狭い場所でも6mの幅を確保しています。街灯越しに見える空は広く、高い。巨大な石積みや意匠を凝らした大邸宅に目を奪われる。現在、約270世帯が暮らすが、コンビニなどの商業施設は一切なく、住民自らが守ってきた。芦屋市では「国際文化住宅都市」を目指して景観を保つための施策を行っています。

現在でも南芦屋浜地区や、さくら参道の抜柱を完了させるなど、無電柱化を進めている。無電柱化が進んでいると言われている東京都でさえ約8%の無電柱化率の中、芦屋市では無電柱化に関する取組をどのように進めてきたか、また、今後の政策も知りたいと考え、取材を申し入れ、承諾をいただき、意見を伺った。

◆取材の内容(質疑応答)

Q1:過去に住民の方に無電柱化アンケートをとったことがありますか。

資料のご提供は可能でしょうか。

A1:芦屋市無電柱化推進条例、芦屋市無電柱化推進計画の策定時にパブリックコメントを実施し、市民から意見をもらっている。 https://www.city.ashiya.lg.jp/douro/documents/pabukome_kaitou_keikaku.pdf

Q2:現在でも、芦屋市として六麓荘町の無電柱化に関わりはありますか。(ex 維持管理など)

A2:単独地中化として整備した地域のため、維持管理などは電線管理者が行っている。

Q3:現在行っている施策があれば教えてください。

A3:六麓荘町南側の地域の無電柱化工事を公共工事で実施中。

Q4:現在の目標とその進捗状況、達成率を教えてください。

A4:数値での目標はなく、着実に無電柱化を進めること。

※Q5以降は次頁で

無電柱化まちあるきショート動画コンテストの動画 大募集!!

取材させていただいた芦屋市に限らず日本には青くて広い、歩いていて気持ちのいい景色がたくさんあります!! 街を歩いて見つけた、「電柱が立っていない場所」をお待ちしています!

↓↓サンプル動画はこちらです。↓↓

<https://youtu.be/hgJc1muwbMQ>



NPO 無電柱ネットでは、11月10日の無電柱化の日のイベントとして、無電柱化まちあるきショート動画コンテストを開催いたします!

1分~1分30秒以内で、無電柱化された素敵なまちあるき動画を応募して下さい!

お待ちしております!!



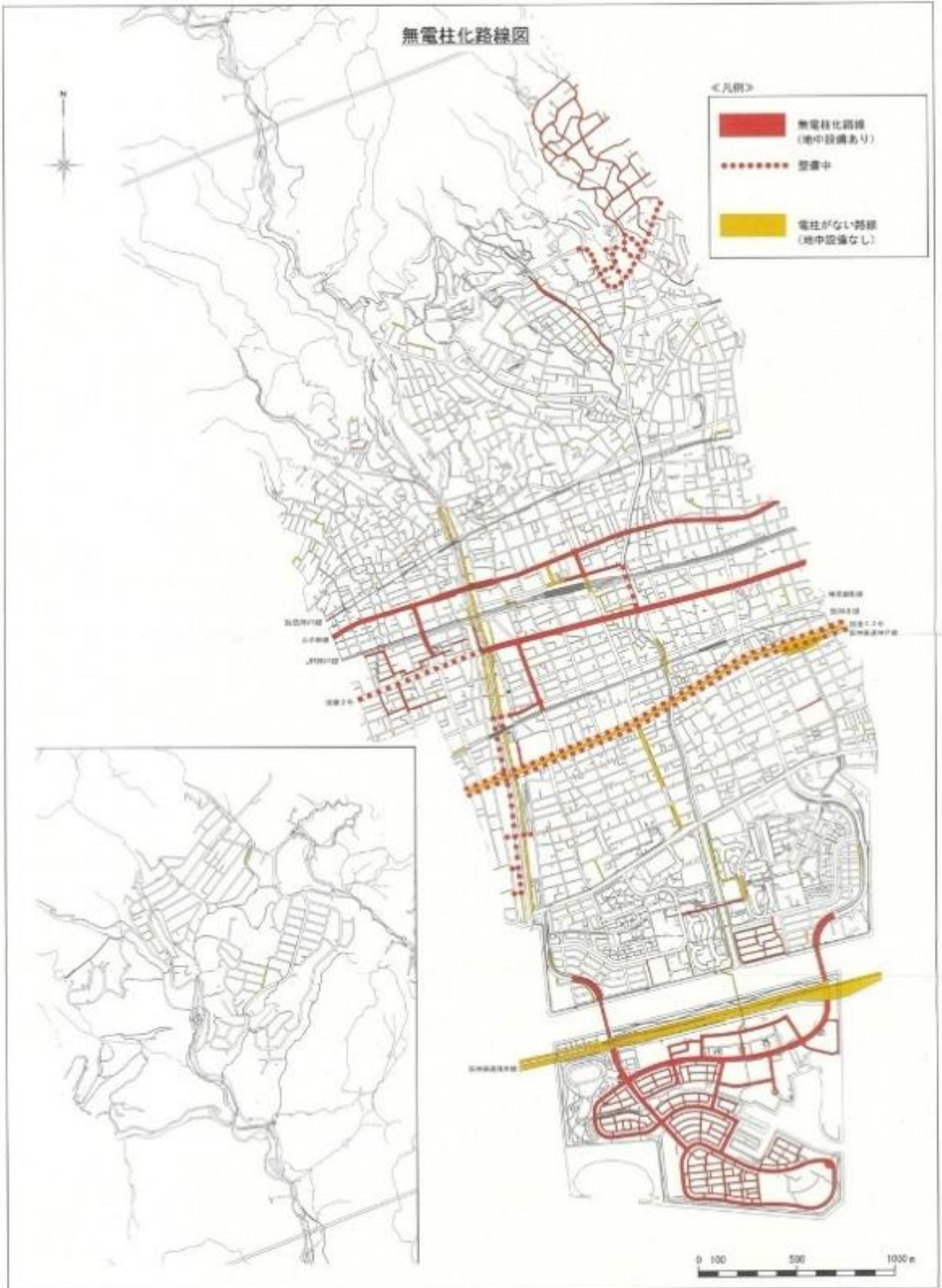
▶HPのご案内

◎11/11開催

[「無電柱化の日」無電柱化まちあるきショート動画コンテストのご案内](#)

◎10/15締切

[「無電柱化の日」無電柱化まちあるきショート動画コンテストの動画募集](#)

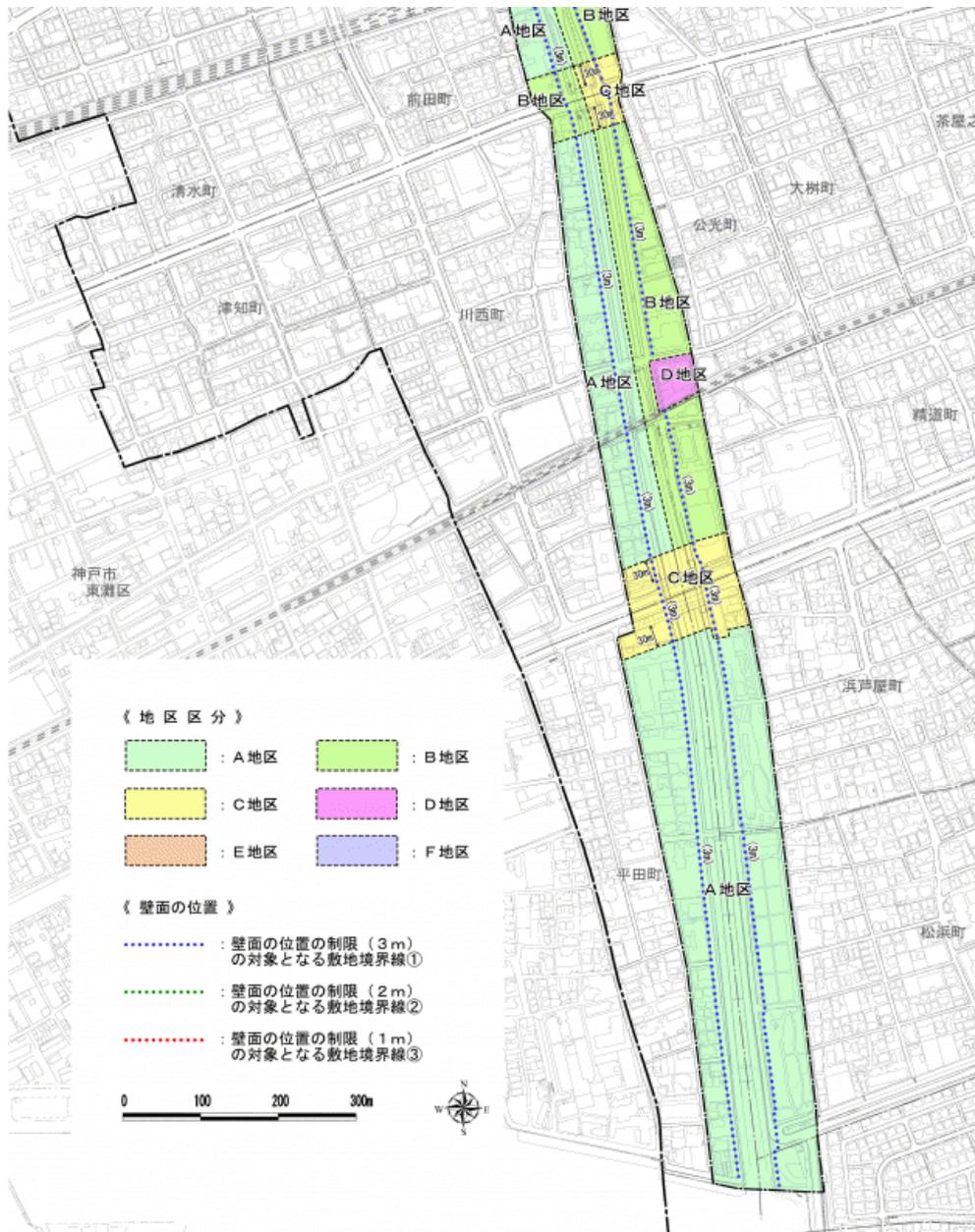


芦屋市無電柱化路線図(芦屋市提供)

Q5: 政策の面で芦屋市独自で考えられていることはありますか。

A5: 無電柱化推進条例では、法を基本に独自部分を設けている。

- ・芦屋川特別景観地区内における電柱の占用禁止を要請
- ・無電柱化地区の指定
- ・開発行為に伴う無電柱化
- ・財政上の措置



芦屋川特別景観地区(芦屋市提供)

Q6: 無電柱化率を計算する際、(国道)二号や山手幹線も含まれていますか。

A6: 芦屋市道、山手幹線含む。(国道)二号は含んでいない。

Q7: 東京では、民間住宅の無電柱化の際、設計費・工事費の補助金が出る「宅地開発無電柱化推進事業」が設けられていますが、今後補助金制度を作るご予定はありますか。

A7: 芦屋市では新しく面的に開発されることが少ないため、今は考えていない。

Q8: 他の自治体の無電柱化率は意識されていますか。

A8: 他市の無電柱化率は把握していない。

Q9: 無電柱化にかかる年間の予算はどのくらいですか。

A9: 実施している事業の進捗によるが、数百万～数億程度。

Q10: 無電柱化をする際(計画・施工・抜柱)に支障となる点は何ですか。

A10: 地域住民の合意(地上機器の設置場所、無電柱化端部で必要となる支持柱・支線、引込設備)、マンパワー、信号線の地中化、事業費。

Q11: 無電柱化をする際、工夫されている点がありますか。

A11: 地域住民の合意(地上機器の設置場所、無電柱化端部で必要となる支持柱・支線、引込設備)を得るために住民説明を行う際に、各電線管理者の設備であっても、各社がばらばらで説明に行くと住民の負担となるため、市が率先して説明に伺っている。

Q12: 予算面での工夫として、「芦屋市無電柱化推進基金」が設けられていますが、成果はどのような感じですか。

A12: 平成 30 年～令和 5 年で 6 千万程度。

Q13: 南芦屋浜地区で、2018 年の台風 21 号被害で地上機器が水没し、停電が発生したことについての御市の HP などで拝見しましたが、その後芦屋市役所の方で対策等とられましたか。

A13: 兵庫県が護岸を設置するなど、再発防止の対策を行っている。

◆ ま と め

今回、芦屋市市役所様を取材して、芦屋市での無電柱化に関する取組や、工夫されていることをうかがうことが出来た。

無電柱化率の高い芦屋市では、条例に独自部分が設けられていた。また、無電柱化する際に支障となる点では、地域住民の合意や事業費などが挙げられた。これは日本全国に共通することである。無電柱化率の高い芦屋市でも支障となる点は同じと言える。

芦屋市では地域住民の合意を得るための工夫がされていた。また、芦屋市無電柱化推進基金を設けることで事業費の負担を減らしている。これらが芦屋市の無電柱化率が高い理由の一つなのかもしれないと考えた。

最後にお忙しい中、取材にご協力いただいた芦屋市役所 平野様に感謝申し上げます。

◆ 参考資料

パンフレット(芦屋市の無電柱化)2019 年 11 月作成

<https://www.city.ashiya.lg.jp/douro/documents/pamphlet.pdf>

芦屋市の無電柱化に関する取組

以下、芦屋市様から頂いた資料を一部紹介します。(令和 6 年 8 月)

1. 芦屋市の現状

1 これまでの無電柱化

(1) 六麓荘地区

昭和 3 年、(株)六麓荘が「東洋一の別荘地」というコンセプトで開発を開始。開発当初から地中による電気・通信の供給。

平成 7 年より都市基盤整備事業の実施に合わせ、地中設備の再整備を実施。震災により事業を休止した期間を経て、平成 20 年 12 月に完了。

■地区内道路延長電力事業者による事業単独地中化方式 4.58km

(2) 南芦屋浜地区

開発面積 125.6ha

平成 8 年、地区内の土地利用基本計画を策定。都市景観上の配慮に加え、災害に強いまちづくり

という視点から無電柱化の方針が示された。平成 9 年、南芦屋浜の開発事業者である兵庫県企業庁と芦屋市、電気事業者、ケーブルテレビ事業者の 4 者で、電線類を共同で地中化することについて、協定を締結。以降、地区内の開発はすべて無電柱化で進められている。

■地区内幹線道路 市道路事業 電線共同溝方式 6.05km

■地区内生活道路 開発者事業 要請者負担式 11.27km

(3)山手幹線

路線延長 2.45km 幅員 22m(歩道 4.5+車道 13.0+歩道 4.5)

平成 5 年の事業着手時より、全線において無電柱化による整備を計画。事業完了は平成 22 年 10 月。緊急輸送道路。

■市街路事業 電線共同溝方式 2.45km

(4)その他

再開発事業(JR 芦屋駅北地区)、区画整理事業(中央地区、西部第一地区、西部第二地区)、街路事業(川西線)において、無電柱化を実施。

■市街地再開発事業 電線共同溝方式 0.68km 市施行・組合施行

■区画整理(中央) 電線共同溝方式 0.61km UR 施行(委託)

■区画整理(西部一) 電線共同溝方式 1.06km UR 施行(委託)

■区画整理(西部二) 電線共同溝方式 0.60km 市施行

その他、民間による開発事業においても、部分的に無電柱化を実施している地区がある。

2 数値で見る無電柱化

無電柱化率(令和 6 年 4 月現在)

市道延長 221.48km

無電柱化路線 34.46km 無電柱化率 : 15.5%

2. 芦屋市の目指すもの

1 無電柱化の推進に関する法律

無電柱化の推進に関する法律が平成 28 年 12 月に施行

2 無電柱化担当課長

市内の無電柱化を推進する担当課長を平成 29 年 4 月に新設

3 無電柱化推進条例の制定

無電柱化の推進に関する法律(平成 28 年 12 月)の施行を受け、市条例を制定。

法を基本に、独自部分を設ける。

- ・芦屋川特別景観地区内における電柱の占用禁止を要請
- ・無電柱化地区の指定
- ・開発行為に伴う無電柱化
- ・財政上の措置

平成 30 年 9 月 25 日公布。11 月 10 日(無電柱化の日)施行。(全国 4 例目)

4 無電柱化推進計画の策定

市の方向性を明確に示し、市民・事業者とのコンセンサスを得るため、芦屋市無電柱化推進計画策定委員会を設置し、計画内容について審議。

計画では、目的・整備実績・整備方針・整備計画・推進にむけた方策を明記。

委員会は、学識経験者 2 名、市民委員 2 名、道路管理者 3 名、交通管理者 1 名、関係事業者 7 名、市職員 3 名で構成。オブザーバーとして国・県から各 1 名も参加。

第 1 回は平成 29 年 11 月 10 日(無電柱化の日)に開催。平成 30 年 10 月計画公表。

実施計画を和 4 年 3 月に公表し、具体的な取り組み内容と年計画を示す。その後、実施を和 4 年 12 月に改定し、住民要望による無電柱化検討地区(六麓荘地区)を追加。

■無電柱化を進める目的と方針

防災・安全・景観の目的から、無電柱化を推進する。

対象路線を選定するにあたり、下記の方針を定める。

(方針 1)安全・安心な道路空間の構築

(方針 2)美しい景観の形成

(方針 3)にぎわいの創出

最終的には、「電柱・電線のないまち」を目指す。

→『国際文化住宅都市』としてのブランド力の向上につながる

3. 関係事業者との合意形成

1 無電柱化推進協議会の開催(平成 30 年 9 月～)

条例制定・計画策定に関係した地下埋設物管理者、電線管理者、市道路管理者で組織。毎月 1 回は定例で協議会を開催し、事業区間の工程や埋設位置の調整など、情報共有を行う。

特に、地中設備完成後のケーブル切替えから抜柱までも、この協議会にて工事調整を行う。

事業中の路線に関する連絡調整だけでなく、実施計画の進捗管理や、次期事業化路線の立ち上げ準備も行う。

2 電気通信事業者との調整会議の開催(平成 29 年 5 月～平成 30 年 8 月で 24 回開催)

無電柱化条例の制定、無電柱化推進計画の策定に向けた調整会議を平成 29 年 5 月より月 1～2 回開催。これまでに、市の目的、方針を説明するとともに、電気通信事業者の意見を聞きながら、無電柱化整備路線の優先順位の設定方法や、無電柱化に関する規制内容について協議を重ねてきた。

4. 無電柱化の広報・啓発活動

1 これまでに実施した活動

平成 28 年 11 月 10 日	芦屋市無電柱化シンポジウムの開催
平成 29 年 4 月	無電柱化パネル展の開催(近畿地方軽備局主催)
平成 29 年 11 月 10 日	第 1 回芦屋市無電柱化推進計画策定委員会の開催 さくら FM による対談番組の公開収録と放送 無電柱化パネル展(別添資料)
平成 30 年 11 月 10 日	「無電柱化 PR 大作戦！」を開催 公募したキャッチコピーの発表 小池東京都知事からのビデオメッセージの紹介 県立芦屋高校書道部によるパフォーマンス など
令和元年 11 月 10 日	無電柱化に関する写真コンテストを開催
令和 2 年 11 月 10 日	無電柱化 AR 体験、パネル展を開催
令和 3 年 11 月 10 日	無電柱化パネル展を開催
令和 4 年 11 月 10 日	無電柱化パネル展を開催
令和 5 年 11 月 10 日	無電柱化パネル展を開催

5. 無電柱化推進基金の活用

1 基金へは寄附金のみ

ふるさと納税の用途選択として、無電柱化を設定し寄附金を募っている。

寄附をいただいた金額は以下のとおり。

平成 30 年度	3,665,000 円	
令和 元年度	10,075,000 円	
令和 2年度	10,075,000 円	
令和 3年度	6,160,000 円	
令和 4年度	9,084,000 円	
令和 5年度	3,564,000 円	計 58,808,000 円

2 基金の活用

無電柱化の啓発、地域の合意形成のためのアドバイザー派遣、マンション管理組合が所有する電波障害線の移設費、地上機器設置のための用地費、などに活用している。

6. 無電柱化を進めるうえでの課題

1 整備コスト

電線共同溝方式による整備では、一般的に 3 億/km のコストがかかるとされている。

国土交通省で低コスト手法(浅層埋設、小型ボックス、直接埋設など)について、検討が重ねられており、一部では基準も整備されている。対象路線の状況に応じて、より低コストな手法を採用していく必要がある。

芦屋市では、電線共同溝方式による無電柱化を基本とし、低コスト手法との比較検討を行っている。現在のところ、浅層埋設方式を採用することで、事業費の縮減に取り組んでいる。

現在は、国の補助金を活用して事業を進めており、道路管理者が負担する金額の約半分は、国の無電柱化推進計画事業を活用している。

2 事業期間

電線共同溝方式による整備では、一般的に計画から工事、電柱の抜柱まで 7 年を要するとされている。計画から工事完了まで、関係する事業者が多く、現場での作業期間が長くなるため、沿道への負担も大きい。

芦屋市では、市が担当する工事(電線共同溝本体工事)が終わった後も、複数の電線管理者が電線の切替えや、抜柱を行うため、事業の最後までスケジュールの調整を行っている。また、設計段階から、特殊部の配置決定のための試掘調査や、沿道各住戸と引込設備の調整を電線管理者と一緒に行うなど、工事着手後の再設計を最小限にする工夫を行うことで、早期に事業が完了するよう努めている。

3 地上機器

電力事業者が必要とする機器。一定間隔で必要な機器であり、地下に埋設できないため、地上に設置せざるを得ない。

歩道がある際には、歩道上に設置するが、歩道がない道路においては、民有地に設置するか、近隣の公共用地に設置することになる。たとえ歩道があっても、設置するとなると、沿道の同意が得にくいいため、設置場所を確保することに時間を要する。

他にも、ケーブルテレビ事業者が地上機器を必要とする場合がある。

4 民有地内の工事

基本的には電線管理者が対応する内容であるが、沿道への説明・合意形成に時間を要することから、市も積極的に関わって調整を行っている。

5 関係事業者との合意形成

無電柱化に多大なコストをかけるのは、行政だけでなく、電線管理者も同様である。しかし、電線管理者は、上空からの供給でも、地下からの供給でもお客様から徴収する料金は同額であり、営利企業として大きなコストをかけることに積極的ではない。同じ姿勢で事業に取り組む形を見せないと、市民に迷惑をかけることになるため、まずは共通理解を構築し、同じ考え、同じ姿勢で取り組む必要がある。

6 電柱の占用制限

芦屋市では、道路法第 37 条第 1 項による電柱の占用制限を令和 5 年 3 月から実施。緊急輸送道路の他、狭隘な道路環境における電柱についても対象として占用制限を実施。

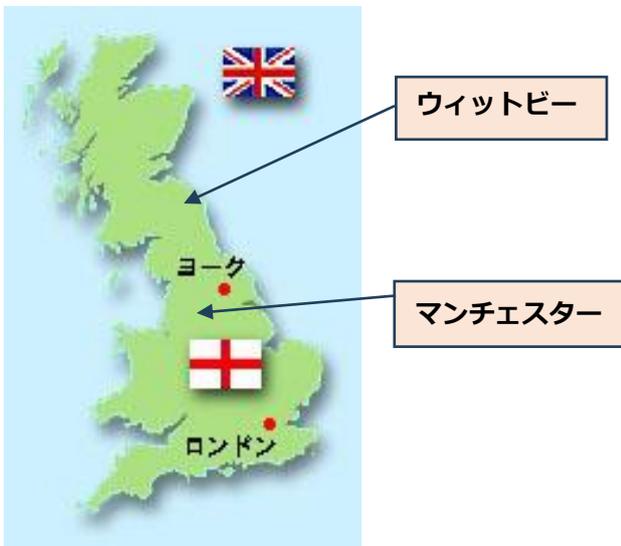
イギリスで見た 無電柱化の現状

NPO ボランティア学生 大竹

・はじめに

先日、大学の夏休みを利用し1か月間イギリスのヨークに語学留学をした。

その際に現地で見た無電柱化事情を書いていきたいと思う。



・ヨーク

北部に位置しロンドンから約 250 km。高速列車で 2 時間で行くことができる。紀元 1 世紀に古代ローマ人が城壁を築き、要塞都市として発展した歴史がある。ハリポッターの舞台のモデルとなった場所がある。

・マンチェスター

北西部に位置する。産業革命の発祥地であり、芸術が溢れる都市である。サッカーの聖地としても有名。

・ワイトビー

北部の港町として知られている。吸血鬼ドラキュラの舞台でもある。

・街の様子(ヨーク)

ヨーク中心街の写真。電柱は一つもなく、全て地中化されていることが分かる。以前からイギリスは無電柱化 100%の国と聞いていたため、電柱がない

街はどのようなものなのかと想像を膨らませていた。そのためイギリスの街を初めて見た時はとても感動した。日本と道幅の広さに差がないにも関わらず空間の奥行や広さを感じ、新鮮さを感じるとともに、その綺麗さに衝撃を受けた。また電柱がない分、狭い道であっても道幅にゆとりがあるため事故や衝突の起こりにくさを実感した。(ヨーク写真4枚)



ハリポッターの舞台のモデルとなったシャンブルズ通り

ヨークの他にマンチェスターと港町であるウィットビーにも行く機会があったため、写真を載せたいと思う。どちらの都市もヨーク同様に電柱が地中化されていた。



マンチェスターの写真(6枚)



ウィットビーの写真(4枚)

・地中化 100%は本当か

中心街は電柱が全て地中化されていたが、中心街から少しはずれた(離れた)場所は、日本ほど多くはないが数十メートル先にところどころ電柱が見られた。



(ホームステイ先の外の様子)

私は写真で見られる線は電源ケーブルだと思っており日本では見られないほどの線の数の多さに驚いていたが、後々調べてみて電話回線であることが分かった。電柱が地中化されているため、新規工事が難しいのだろうか。

また、イギリスに行ってみて電波の悪さに度々悩まされた。私のホームステイ先はもちろん、中心街でも電波が途切れやすく、通信量が多い通話の際などはとても大変だった。

イギリスは電灯事業法(The Electric Lighting Act)を 1882 年に制定し、地上や上空に電線を設置することを禁止したという。もともと地中に電線があった国は、上記の写真のように新規工事の際に2重に電柱を立てなければならないというデメリットもあるのかもしれない。

[NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク Blog](#)

[なぜ東京には電柱があるのに、ロンドンには一本もないのか？](#)
